

広報紙かしの木



社会福祉法人
せたがや檜の木会

第 25 号

2019 年 7 月発行



「スポーツ活動への誘い」

理事長 岩井雄一

東京オリンピック・パラリンピックの開催までおよそ 1 年となりました。オリンピックやパラリンピックがテレビ画面に登場し、各学校を訪問することによるオリ・パラ教育が展開されています。このようにオリ・パラを機に国民全体のスポーツ熱が高まっています。特にスポーツ庁が中心となり、すべての国民がスポーツに関わり、生活を豊かにし、健康を増進することが議論されています。スポーツ庁の資料によれば、障害のある人のスポーツ実施率はこの 1 年間に週 1 回以上スポーツを行った人の割合は 20.8%となっています。これは一般の成人のデータが 51.5%となっているの比べると 4 割程度の実施率になっています。障害のある人のスポーツをする機会が広がらないことの要因として、施設や場所の問題、指導者の問題、移動手段の問題などがあげられこれらの改善に向けた方策が示されているところです。

私どもの法人においても、活動のプログラムの中で仕事や芸術活動と合わせて体を動かす取組を重視してきました。体を動かすことやスポーツ競技を通して健康を増進し、生活を豊かにすることは重要な取組です。

各事業所の施設の条件や利用者の方のニーズに基づいた取組を追求しています。昨年度から世田谷区のスポーツ振興財団の呼びかけによりボッチャの練習会に参加する機会がありました。世田谷区立大蔵第二運動場の体育館で、千歳台福祉園、大原福祉作業所（現：まもりやま工房）、喜多見夢工房、用賀福祉作業所などが参加しました。財団の指導者の人たちが丁寧に指導してくださり、ルールも簡易なもので練習試合を楽しむことができました。優勝した用賀福祉作業所のメンバーは今年度代表として区の大会に出場する予定です。

ボッチャはパラリンピックの種目となっていますが、障害者が楽しめるスポーツは様々に工夫されています。東京都障害者スポーツ大会では、毎年フットベースボール大会への参加もしてきたところです。今回、世田谷区のティーボール協会からティーボールを楽しみませんかとのお誘いを受けました。スポーツ競技に限らず、体を動かす習慣は生活習慣病の予防など健康維持にも役に立ちます。生活に位置づけていくように取組んでいくことが大切だと思います。

さて、せたがや檜の木会は令和元年度新たな取組として地域の障害者相談の「ぽーときぬた」を開所しました。わくわく祖師谷の建物の 3 階、相談支援センターあいと同じところです。相談がある場合にはまずこちらへご連絡ください。

旧守山小学校の後を活用し、区の複合施設となったところに「まもりやま工房」が開所しました。これまでの大原福祉作業所がリニューアルオープンしたものです。施設の 3 階ワンフロアをつかったの活動となります。目玉は自家焙煎の美味しいコーヒー、クッキーやケーキも提供できる喫茶も営業する予定です。是非お出で下さい。その他法人の各事業所とも特長を生かし、事業を行っていきますので今年もどうぞよろしくお願いいたします。



就任のご挨拶



事務局長 大野正志

通勤途中、アジサイの花がとてもきれいに咲いています。本年4月より木谷事務局長の後任として事務局長とヘルパーステーションの所長に就任しました大野正志です。どうぞよろしくお願いします。

私は30年ほど前まで普通小学校に勤務していましたが、あるテレビ番組で自宅を改築して二人の障害者と一緒に暮らしている夫婦の話が放送されました。その番組を見て自分たちも定年をしたらこんな生活がしてみたいと話しました。私は障害児学校を経験していなかったので定年になって初めて障害者と生活するのではなく、一度、障害児学校を経験しておくつもりで、養護学校への異動を希望し、平成元年から青鳥養護学校に勤務することになりました。始めは3年間だけのつもりでしたが、結局定年までの23年間特別支援学校に勤務しました。檜の木会の利用者さんの中には宿泊学習に一緒に行き、文化祭で劇を演じたなど懐かしく思い出される方が何人もいらっしゃいます。そんなご縁で、檜の木会で働くことになり、大原福祉作業所の所長を1年、わくわく祖師谷の施設長を3年経験しました。どちらの事業所でもご家族の方々にとても助けられました。ありがとうございました。今年からは、また違った立場で檜の木会の運営に携わっていくことになりました。

立場が変わって話すことが全く違って来たと言われますが、法人ミッション「一人ひとりの思いに寄り添いともに人として支えあい 誰もが自分らしく生きられる 地域づくりを進めます」の達成のために努力していることに変わりはありません。

法人には沢山の夢があります。利用者、家族、職員がそれぞれの思いを叶えられるように、昨年度発足した、『せたがや檜の木会サービス向上委員会』や『世田谷区手をつなぐ親の会』『世田谷区』と協力しながら一つ一つ夢の実現に向けて精進していきたいと思っています。グループホームの夢は叶っていませんが、定年後に檜の木会で働いているので、夢の半分は実現できたかなと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



わくわく祖師谷 施設長 島澤 広樹

運気が上がりますように。毎朝、わくわく祖師谷の前に設置された黄金のカネゴン像にタッチをしてから業務にあたるのが日課となっています。この春、4年間勤めた上町工房から、わくわく祖師谷に施設長として着任いたしました。平成16年の入職から、ヘルパー派遣、就労継続支援B型、共同生活介護、短期入所と様々な形態で支援と運営の経験がありますが、わくわく祖師谷のような多機能型の大型施設は初めての経験となり、着任日までドキドキとワクワクが止まりませんでした。わくわく祖師谷での初日、私はさっそく『人酔い』をしました。

利用者・職員の数を合わせれば約90名以上、パンを買いに来るお客さまも大変多く、祖師谷支えあいルームには地域団体が利用するスペースもあり、多くの方が訪れており、初日に挨拶を交わした人数はそれぞれ100名を軽く超えました。わくわく祖師谷の規模の大きさをとても実感しました。

それだけ、わくわく祖師谷が障害者施設でありながらも地域の一施設として当たり前存在していることに、わくわく祖師谷の10年という歴史を感じました。多くの方が出入りする施設は、多くのご縁がある場所なのだと思います。そのご縁はカネゴンにより確実に広がっていくと思います。カネゴンが導いてくれる新たなご縁とともに、わくわく祖師谷も一層皆様に愛される場所になれるよう、頑張っていきたいと思っています。



喜多見夢工房 所長 甲斐 実

4月から所長になりました甲斐実と申します。せたがや櫛の木会には平成14年の千歳台福祉園開設以来お世話になり、下馬福祉工房そして、喜多見夢工房の本場化にともない、分室で2年間の主任支援員としての経験を積み、今年度より所長として本場に着任しております。

まだ慣れない私に対して「頑張ってね」と励ましの言葉をくださる利用者に勇気づけられ、ちょっとした気遣いに優しさをもらい、うれしそうな笑い声に元気をもらい、この仕事の楽しさ、奥深さを改めて実感しています。4月から職員の入れ替わりや配置替えて新たな顔ぶれになり、今まで積み重ねてきたものを踏襲しながら、よりよいものになっていくよう利用者と職員が一緒になって喜多見の文化を作っていきたいと思います。皆さんが笑顔で過ごせるよう、尽力して参りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



上町工房 所長 斉藤由子

『上町福祉作業所』から『上町工房』へ、変化の折に上町へ来て早6年目。今年度からは所長として務めさせていただいています。「斉藤が所長だなんて、まあどうしましょ」というのが自他共の正直な思いかもしれません。とはいえ、入所施設から始まった知的障害のある方とのお付き合いもかれこれ20年。ここは一つ覚悟を決め、私なりの役割を形作っていかねばと捉えています。まずは、この仕事を今まで続けてこられた、その原動力となっているような思いや魅力をたくさん発信すること、これまで皆さんから教わってきたことをきちんと伝え、返していくこと、そしてそれを障害のある方への理解に繋げていくこと、そんなことを大切にしたいと思います。

体と頭と心をフルに使い、利用者の皆さんとじっくり丁寧に向き合っていく中でようやく見えてくるお相手の思いや変化、何か気持ちを分かち合えたような瞬間や関係性がどれ程素敵で、ぐっとくるものなのか。

そのためにはいかに労を惜まず、一生懸命に共に楽しみ、しっかり学び、誠実に自分を振り返り、誠実に相手と向き合うことが重要か。そんな基本をおさえ、理想を描くことを諦めず、そして施設運営という枠についても一から学んで、上町だもの、ジャムもいっぱい煮込んで…。いやはや、なかなか忙しくなりそうですが、やれることを一つずつ。楽しく、元気に、健やかに！がんばります。たくさんのご協力をいただくことと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



退任のご挨拶



喜多見夢工房 前所長 安達みち子

青葉若葉の候、皆様方に於かれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。さて、私こと、平成30年度末をもちまして、喜多見夢工房所長を退任いたしました。

在任中は、利用者とそのご家族、区や関係機関、地元喜多見の町会・住民の皆様、受注作業をご提供下さった業者様等々、多くのお力添えにより何とかその任を果たせたものと深く感謝申し上げます。様々な出来事の中でも、平成29年4月に東京都の認可を得た本場化は、一つの転換期となりました。定員25名の「喜多見夢工房」が今後一層の発展を遂げていくようお願いして止みません。

なお、後任には主任でありました甲斐実が就任し、精力的に取り組んでいます。何卒倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



平成30年度 法人決算報告

法人単位貸借対照表

平成31年3月31日現在

第三号第一様式

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	289,757,912	260,521,643	29,236,269	流動負債	107,547,481	94,048,527	13,498,954
現金預金	210,499,915	183,708,132	26,791,783	事業未払金	11,594,321	10,707,767	886,554
現金	1,489,389	1,101,719	387,670	その他の未払金	22,223,070	12,281,038	9,942,032
小口現金	40,000	70,000	△ 30,000	1年以内返済予定設備資金借入金	3,180,000	3,180,000	0
当座預金	1,358,914	760,306	598,608	未払費用	29,629,975	29,270,200	359,775
普通預金	207,611,612	181,776,107	25,835,505	預り金	134,694	174,470	△ 39,776
事業未収金	69,959,364	68,833,010	1,126,354	職員預り金	1,312,308	2,243,389	△ 931,081
未収金	4,212,828	3,247,875	964,953	前受金	6,913	0	6,913
未収補助金	328,000	423,791	△ 95,791	仮受金	396,000	330,000	66,000
貯蔵品	1,409,020	1,042,704	366,316	未払消費税等	601,700	0	601,700
商品・製品	942,440	921,480	20,960	賞与引当金	38,468,500	35,861,663	2,606,837
原材料	937,006	1,148,015	△ 211,009				
立替金	276,947	263,641	13,306				
前払金	983,200	421,600	561,600				
前払費用	129,192	321,646	△ 192,454				
仮払金	80,000	189,749	△ 109,749				
固定資産	409,560,604	419,331,407	△ 9,770,803	固定負債	86,075,734	86,481,831	△ 406,097
基本財産	206,511,401	215,410,254	△ 8,898,853	設備資金借入金	47,700,000	50,880,000	△ 3,180,000
土地	36,231,750	36,231,750	0	退職給付引当金	38,375,734	35,601,831	2,773,903
建物	170,279,651	179,178,504	△ 8,898,853	負債の部合計	193,623,215	180,530,358	13,092,857
その他の固定資産	203,049,203	203,921,153	△ 871,950	純資産の部			
建物	12,420,371	12,743,216	△ 322,845	基本金	55,841,950	55,841,950	0
構築物	2,919,361	3,350,666	△ 431,305	基本金	55,841,950	55,841,950	0
機械及び装置	3,123,858	1,524,251	1,599,607	国庫補助金等特別積立金	111,049,398	110,290,189	759,209
車両運搬具	2,346,469	7	2,346,462	国庫補助金等特別積立金	111,049,398	110,290,189	759,209
器具及び備品	7,578,372	6,587,780	990,592	その他の積立金	135,582,546	145,982,546	△ 10,400,000
権利	76,440	76,440	0	人件費積立金	63,750,593	63,750,593	0
ソフトウェア	227,232	0	227,232	事業推進費積立金	15,721,513	16,721,513	△ 1,000,000
退職給付引当資産	38,375,734	35,601,831	2,773,903	修繕積立金	36,850,402	35,250,402	1,600,000
人件費積立資産	63,750,593	63,750,593	0	備品等購入積立金	10,260,038	10,260,038	0
事業推進費積立資産	15,721,513	16,721,513	△ 1,000,000	施設整備等積立金	9,000,000	20,000,000	△ 11,000,000
修繕積立資産	35,750,402	31,850,402	3,900,000	次期繰越活動増減差額	203,221,407	187,208,007	16,013,400
備品等購入積立資産	10,260,038	10,260,038	0	(うち当期活動増減差額)	5,613,400	20,753,091	△ 15,139,691
施設整備等積立資産	9,000,000	20,000,000	△ 11,000,000				
差入保証金	1,351,500	1,351,500	0	純資産の部合計	505,695,301	499,322,692	6,372,609
長期前払費用	147,320	102,916	44,404	負債及び純資産の部合計	699,318,516	679,853,050	19,465,466
資産の部合計	699,318,516	679,853,050	19,465,466				

法人単位事業活動計算書

(自) 平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日

第二号第一様式

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	195,956	142,536	53,420
	就労支援事業収益	47,725,283	47,485,783	239,500
	障害福祉サービス等事業収益	842,489,997	795,463,500	47,026,497
	経常経費寄附金収益	2,194,408	1,723,000	471,408
	サービス活動収益計(1)	892,605,644	844,814,819	47,790,825
	費用			
	人件費	607,892,818	581,570,953	26,321,865
	事業費	66,862,916	64,283,417	2,579,499
	事務費	151,987,739	125,632,118	26,355,621
サービス活動外増減の部	収益			
	就労支援事業費用	47,725,283	47,485,783	239,500
	減価償却費	11,863,408	11,966,938	△ 103,530
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 5,714,304	△ 5,348,796	△ 365,508
	徴収不能額	0	24,577	△ 24,577
	サービス活動費用計(2)	880,617,860	825,614,990	55,002,870
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	11,987,784	19,199,829	△ 7,212,045
	収益			
	借入金利息補助金収益	368,212	390,472	△ 22,260
	受取利息配当金収益	14,187	13,419	768
特別増減の部	収益			
	その他のサービス活動外収益	3,045,507	1,791,807	1,253,700
	サービス活動外収益計(4)	3,427,906	2,195,698	1,232,208
	費用			
	支払利息	394,513	418,364	△ 23,851
	その他のサービス活動外費用	0	25,353	△ 25,353
	サービス活動外費用計(5)	394,513	443,717	△ 49,204
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,033,393	1,751,981	1,281,412
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	15,021,177	20,951,810	△ 5,930,633
	施設整備等補助金収益	7,304,070	2,901,926	4,402,144
当期活動増減差額の部	収益			
	特別収益計(8)	7,304,070	2,901,926	4,402,144
	費用			
	固定資産売却損・処分損	97,387	0	97,387
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 1	0	△ 1
	国庫補助金等特別積立金積立額	6,668,012	2,901,926	3,766,086
	その他の特別損失	9,946,449	198,719	9,747,730
	特別費用計(9)	16,711,847	3,100,645	13,611,202
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 9,407,777	△ 198,719	△ 9,209,058
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	5,613,400	20,753,091	△ 15,139,691
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	187,208,007	179,186,276	8,021,731
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	192,821,407	199,939,367	△ 7,117,960
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	12,000,000	0	12,000,000
	その他の積立金積立額(16)	1,600,000	12,731,360	△ 11,131,360
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	203,221,407	187,208,007	16,013,400

法人単位資金収支計算書

第一号第一様式

(自) 平成30年4月1日 (至) 平成31年3月31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	156,500	195,956	△ 39,456	
	就労支援事業収入	49,308,056	47,725,283	1,582,773	
	障害福祉サービス等事業収入	842,400,094	842,489,997	△ 89,903	
	借入金利息補助金収入	364,000	368,212	△ 4,212	
	経常経費寄附金収入	1,853,508	2,194,408	△ 340,900	
	受取利息配当金収入	43,800	14,187	29,613	
	その他の収入	3,077,460	3,045,507	31,953	
	事業活動収入計(1)	897,203,418	896,033,550	1,169,868	
	支出				
事業活動による収支	人件費支出	622,722,744	600,816,518	21,906,226	
	事業費支出	73,882,121	66,862,916	7,019,205	
	事務費支出	158,460,340	151,987,739	6,472,601	
	就労支援事業支出	49,308,056	47,310,803	1,997,253	
	支払利息支出	400,000	394,513	5,487	
	事業活動支出計(2)	904,773,261	867,372,489	37,400,772	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 7,569,843	28,661,061	△ 36,230,904	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	6,908,350	7,304,070	△ 395,720	
	その他の施設整備等による収入	0	96,076	△ 96,076	
	施設整備等収入計(4)	6,908,350	7,400,146	△ 491,796	
	支出				
	設備資金借入金元金償還支出	3,181,000	3,180,000	1,000	
	固定資産取得支出	6,192,812	7,663,382	△ 1,470,570	
	その他の施設整備等による支出	0	367,712	△ 367,712	
	施設整備等支出計(5)	9,373,812	11,211,094	△ 1,837,282	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 2,465,462	△ 3,810,948	1,345,486	
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	12,000,000	12,653,890	△ 653,890	
	拠点区分間繰入金収入	1,000,000	0	1,000,000	
	サービス区分間繰入金収入	△ 1,000,000	0	△ 1,000,000	
	その他の活動収入計(7)	12,000,000	12,653,890	△ 653,890	
	支出				
	積立資産支出	20,291,240	9,023,353	11,267,887	
	拠点区分間繰入金支出	1,000,000	0	1,000,000	
	サービス区分間繰入金支出	△ 1,000,000	0	△ 1,000,000	
	その他の活動による支出	1,455,000	9,946,449	△ 8,491,449	
	その他の活動支出計(8)	21,746,240	18,969,802	2,776,438	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 9,746,240	△ 6,315,912	△ 3,430,328	
	予備費支出(10)	87,157			
		△ 87,157		0	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 19,781,545	18,534,201	△ 38,315,746	
前期末支払資金残高(12)		203,445,284	203,445,284	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		183,663,739	221,979,485	△ 38,315,746	

新事業所紹介

ち い きょうがいしゃそうだんしえん せ ん た
地域障害者相談支援センター

「ぽーと きぬた」

地域障害者相談支援センター ぽーと きぬた

所長 中川 邦仁丈

ぽーと きぬた



平成 30 年度に世田谷区が区内 5 地域に配置している地域障害者相談支援センターの受託事業所プロポーザルが行われました。せたがや榎の木会では、相談支援センターあい開所以来、積み重ねてきた実績を基にした事業計画を準備し選考の結果、無事に受託する事が出来ました。

事業所名にある「ぽーと」は、誰もが立ち寄れる「みなと (Port)」をイメージしてつけられています。この「みなと」に立ち寄りながら、また

それぞれ進んでいける、そんな場所になれたらという願いで付けられており、世田谷区の5つの地域にひとつずつあります。せたがや榎の木会では、この内砦地域を受託いたしました。ぽーときぬたは、相談支援センターあいの事務所に併設される形で開所しています。「ぽーと」では、年齢、病気や障害の有無などは問わず、精神保健福祉士、社会福祉士などの専門スタッフが、障害のあるかたやご家族、関係機関などからのご相談はもちろんのこと、その他の方からのご相談もお受けしています。お困りの内容に応じた情報提供、行政・福祉サービスの利用案内、サービス利用のお手伝いなどを行います。

相談支援業務のほかに、関係機関との連携・協力、地域包括ケアシステムの推進、相談支援事業者への支援、人材育成、権利擁護のための支援も行っています。個人情報厳守しますので、どなたでもお気軽にご相談いただければと思います。

「まもりやま工房」



まもりやま工房 所長 伊能 亮

平成31年4月1日、平成が終わり、令和が始まるのに合わせるようにして大原福祉作業所は「まもりやま工房」として新たに生まれ変わりました。施設の名称は守山（まもりやま）の名前を残してほしいという地域の方々の強い希望に合わせ、利用者、ご家族、法人、世田谷区とも協議を重ね「まもりやま工房」となりました。

漢字だと「もりやま」と読まれることがあるのとひらがなの方が優しいイメージがあるという事、利用者の皆さんにも覚えてもらいやすいということで決まりました。校舎をそのまま利用し3階の8教室とランチルームをすべて工房として使えることになり、広さは今までの2.5倍以上になりました。校舎を改修して活用するため教室単位の広さをどう利用するか、全長80mの長い廊下を通して部屋を移動しなければならず利用者掌握をどうするか、どうしたら活用しやすくなるかなど、世田谷区の障害者地域生活課、北沢地域振興課、施設営繕課と検討を重ね建物が完成しました。

広いスペースには飲食の営業許可をとった調理室、ガスの焙煎機を入れた珈琲の焙煎室、二部屋の受託作業室、相談室、多目的室兼医務室、食堂などがありLED照明や空調、換気などの設備も整えていただき兄弟施設から羨ましがられています。



新しい地域の拠点にまもりやま工房が入れた利点を最大限生かし地域の方々との交流を通して、利用者の方々の理解、法人・施設の理解、障害に対する理解などを広めていきます。新たに飲食の営業許可を取り、ガスの焙煎機を導入して新たな事業展開や館内清掃の受託などを模索しています。

利用者定員も平成30年度の31名から40名に増えました。1年目はまだ「どんなところなんだろう」という不安もあったか利用希望者は2名でしたがこれからまもりやま工房の良さをどんどんアピールしていきます。ぜひ一度まもりやま工房にお越しください。

新事業所の所在地連絡先

まもりやま工房

所在地：〒155-0033 東京都世田谷区代田 6-21-5

まもりやま複合施設 守山保育園棟 3F

●電話：03-3460-9019

●FAX：03-3460-9034

●最寄り駅

京王井の頭線「新代田」下車 徒歩5分

地域障害者相談支援センター ぽーと きぬた

所在地〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-21-1

祖師谷ふれあいセンター 3F

●電話：03-6411-5680

●FAX：03-6411-4150

●最寄り駅

小田急線「祖師ヶ谷大蔵駅」下車 徒歩5分

寄付金報告

リーフレットによる寄付金報告

(平成31年1月～3月末)

飯田 和夫様、佐藤 勝様、澤田 剛様、
新庄 瑛子様、水戸 都紀子様、渡部 伸様
他 匿名希望26名様

五十音順

合計 32名様

総額 198,740円(手数料を除く)

《平成30年度寄付金等受領報告》

世田谷区手をつなぐ親の会様	200,000円
昭和会館 様	349,920円
北沢優申会 様	50,000円
世田谷区赤十字奉仕団 様	50,000円
一般社団法人尚友倶楽部 様	160,108円
千歳台福祉園 保護者の会様	99,900円
下馬福祉工房 下馬会様	90,000円
大原福祉作業所 大原会様	100,000円
上町工房 親の会様	20,000円
用賀福祉作業所 家族会様	378,480円
新藤 徹様	70,000円
他、匿名の方々	5,000円
総額	1,573,408円



皆様の暖かいご寄付、ご支援に心より感謝いたします。頂いた寄付金につきましては、今後の法人経営に役立ててまいります。

社会福祉法人せたがや櫛の木会
理事長 岩井 雄一

法人からのお知らせ

・法人ホームページを大幅改定予定

2019年の上半期中に、法人ホームページを大幅リニューアルする準備を行っています。今後は年2回発行の本広報紙以外にも、様々な情報をホームページにてお伝えしていく予定となっております。どうぞご期待ください。

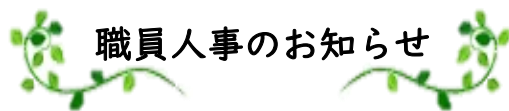
事業所のお祭り情報(上半期)

7月27日(土)・28日(日) プレイ&リズム希望丘
希望ヶ丘団地夏祭り
15:00～21:00

8月24日(土) 上町工房
第4回グランサマーフェス
10:30～15:00

9月21日(土) 千歳台福祉園
第17回秋桜祭 10:30～14:30

※例年9月に実施していた大原福祉作業所(現まもりやま工房)の秋祭りは施設移転により開催が未定となっています。



職員人事のお知らせ

職員の異動・昇任（4月1日付）

管理職

法人本部事務局長 大野 正志
上町工房 所長（昇任） 齋藤 由子
わくわく祖師谷 施設長 島澤 広樹
喜多見夢工房 所長（昇任） 甲斐 実
地域障害者相談支援センター ぽーときぬた
所長 中川 邦仁丈

一般職員

地域障害者相談支援センター ぽーときぬた相談員
吉田 和弘 ・ 虎谷 シノブ ・ 石原 かおる
喜多見夢工房 支援員 鈴木 麻子 ・ 和多田 陽

新規採用

一般職員

千歳台福祉園 支援員（2月1日付）後藤 譲
千歳台福祉園 支援員（3月1日付）塚本 結加
千歳台福祉園 支援員（4月1日付）
川口 啓介 ・ 中川 照子
上町工房 支援員 田島 和美
地域障害者相談支援センター ぽーときぬた相
談員 柳場 浩光

退職・再雇用

管理職

下馬福祉工房 施設長 川名 あき
（3月31日付退職、4月1日付再雇用）

退職

管理職

喜多見夢工房 所長 安達みち子

一般職員

喜多見夢工房 支援員 池西 典宏



世田谷区手をつなぐ親の会

知的障害児・者とその家族が、地域で安心して生活できるような社会を作りたいという願いをもって、活動を実施しています。福祉制度やサービスについての研修会や、さまざまな施設の見学会、ホームページの運営による情報発信、区民の皆さん向けに障害理解のための「セータとガーヤの気持ち伝え隊」のキャラバン活動、本人活動「Setagaya アミーゴ」など、いろいろな取り組みを行っております。ぜひホームページをご覧くださいませ。

<https://oyanokai-setagaya.com/>

編集後記

初めての紙面作りは、勝手がわからず、多くの方のお世話になり完成しました。おかげ様で、難しくもあり、楽しい時間となりました。今年度は古くなったホームページのリニューアルも控えています。情報発信で乗り遅れがないように法人内の「今」を伝えていけるように頑張ります。

広報委員長 島澤広樹

編集発行：

社会福祉法人せたがや榎の木会 理事長 岩井雄一

155-0033 東京都世田谷区代田 1-29-5

TEL 03-5481-1010 FAX 03-5787-4051

Mail setagaya-kasinokikai@poppy.ocn.ne.jp

HP <http://kashinokikai.net/>